
君の花を僕に頂戴

夏目柚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君の花を僕に頂戴

【Zコード】

N9916M

【作者名】

夏目柚

【あらすじ】

また一緒にいたい。

ただ、それだけを思つていた。

願いたいのは、また貴方の傍にいたいということだけ。

その願いは、刻へと続く

永遠と続く愛

幾千の時を越えて

「…雨だな…」

その言葉は微かな声で、少年はずっと手を握っているだけだったまるで男性を逃がさないようによく強く、握る。

男性は布団に寝かされており、瘦せ細っていた容姿から見ていれば、もう長くはない。その隣で男性の手を握っている表情を変えない少年。だが、その無表情の裏の悲しい感情が手から男性に伝わっていく。

男性にとってそれが辛い。自分の事がわかっているから、「死にたくない」とおもつてしまつ。

そのうち、男性は思う事を口に出していた。

「一生一緒にいたい…」

男性の言葉のせいでの少年は、何も言わないまま頷いているだけだった。そのうち、男性の手の力が弱くなつていった。少年はそれに気づき、もつと強く握る。

「…痛いぞ…」

少年はその言葉を聞くと少しだけ手を緩めた。笑顔を見せる男性。「すまない…やはり、無理であつた…」

少年は唇を噛み締めながら、涙を堪えている。緩く握っていた男性の手が急に、強く握られて、少年もその答えに返すように握り返す。

「「めんな…」

その瞬間少年の目からは一筋の涙が流れた。いきなり毀れたので、少年も何度も着物の袖で拭いた。だが、止まらなかつた。

「泣くな……お前はいつでも……俺の傍………」

男性が握っていた手が、解けていき地面に落ちる。部屋の中には落ちた音が反響して少年の耳に入つてくる。少年の心にそれが、どんなに残酷で辛いことかもわからないで…。

少年は思った「また、この人と一緒にいたい」と……。

その願いは幾度と繰り返される。少年も、そして男性も。二人は繋がりあっているからまた会える。それは変えられない。心臓ハートに刻んだ思いが少年と男性を引きつける。そして、また1つになる。

永遠と続く愛

。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9916m/>

君の花を僕に頂戴

2010年10月9日03時31分発行